

和歌山に中間貯蔵施設はいらない！

◎ 講師 小山英之 氏

(美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会 代表)

◇日時 2月18日(日)14:00～

◇会場 あいあいセンター3階(会議室第3・第4)

和歌山市小人町 29 電話073-431-5246

関西電力は2017年11月27日、大飯原子力発電所3・4号機(福井県)の再稼働に向けて福井県の西川知事の同意を取り付けた時、使用済み核燃料の中間貯蔵施設について「2018年中に具体的な計画を示す」と表明した。

関西電力は現在、使用済み核燃料を各原発の敷地内で保管している。原発をこれからも長期運転したい関西電力にとって中間貯蔵施設の確保が課題となっている。

関西電力は原発の候補地「市江」以外にも和歌山県白浜町日置川河口に土地を買っていることがわかった。白浜町は中間貯蔵施設の候補地として大きくクローズアップした。

和歌山県の観光地パンダの居る白浜町に中間貯蔵施設はいりません。

○参加費無料 どなたでも参加できます。

【共催】「市民連合わかやま」「子どもたちの未来と被ばくを考える会」 連絡先 090-5120-2451(松浦)

協賛「にんにこ被災者支援ネットワーク・和歌山」「原発がこわい女たちの会」「上岩出診療所」

講師 プロフィール

1967年大阪大学大学院理学研究科博士課程(素粒子論専攻)終了。大阪府立大学工学部数理工学科で脳神経システムの数理科学的研究などを行い、講師として定年退職。スリーマイル島原発事故を契機に、原発新規立地に反対する運動に参加。91年の美浜2号機事故を契機に「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」を結成。同年、高浜2号機の蒸気発生器問題で大阪地裁に提訴。99年、MOXデータ不正事件で大阪地裁に提訴。全国のプルサーマル問題や六ヶ所再処理問題に関与。2000年12月福島第一原発3号機用MOX燃料の使用差止め仮処分申請(福島地裁)で証人として法廷に立つ。